

## 素案に関する意見・質問票に対する回答等

## 基本施策4. 観光の振興（素案P49. 50）

		No.	委員名	提出日	意見内容	意見に対する回答
意見		1	西山 大作	7月27日	<p>・観光プラットフォームについて 「ふるさと宍粟の観光基本計画」において、観光の推進体制として多様な主体が参画及び連携し、情報共有、交流及び協議を行うとともに、情報発信の一元化等の機能を有する「観光プラットフォーム」を構築することが大きな目標となっており、「観光ステーション」は「観光プラットフォーム」の拠点として、その機能を充実させるための一つの手段として整備するものであると考えている。 上記を踏まえ、素案の中に「観光プラットフォーム」についても記載し、観光ステーション設置の目的を明確にすることが必要であるとする。</p>	<p>ご指摘のとおり「ふるさと宍粟の観光基本計画」において、「観光プラットフォーム」の構築を大きな目標とする中で、「観光ステーション」についてはプラットフォーム機能をより充実させるための中核を担う拠点施設として整備するものであり、「観光ステーション」を整備する目的を明確にお示しすることが必要であると考えますので、素案を下記のとおり修正させていただきます。 なお、「観光プラットフォーム」については、既にしそ森林王国観光協会を中心に市民や事業者など多様な主体との連携や協議、情報共有、情報発信の一元化などの取組を進めており、今後は「観光ステーション」の設置などにより、さらなる充実を図っていきたいと考えております。</p> <p>【素案修正】 ・課題の1つ目 「観光プラットフォームの拠点となる観光ステーションの設置・・・」に修正</p>
		2	小林由佳子	8月6日	<p>鉄道のない宍粟市に来られる観光客は、R29や中国道を利用される方が多いが、山崎インター出口付近には、観光案内の看板も少なく、明確な目的なく来られた観光客はどこに向かえばいいのかわからずR29を北上される方が多いのではないかと思います。 各町それぞれ観光スポットもあり、千種方面に誘導する為にも山崎インター出口付近に車の駐車スペースを設け、宍粟市全域の観光マップ看板を設置できないか。</p>	<p>山崎インターから近隣にある山崎酒蔵どおりには多くの観光客がお越しになっております。その観光客に市北部の観光地情報を提供し、市内を周遊してもらいたいと考えており、情報を提供するための観光プラットフォームの拠点となる観光ステーションの設置について検討をしていきたいと思っております。なお、観光ステーションの設置場所が決定した時には、山崎インター出口を通過して、ステーションへの誘導のための看板が必要と考えております。</p>
		3	小林由佳子	8月6日	<p>テレビやHPで宍粟市の観光スポットが紹介され、京阪神からバスを利用して来られる観光客も少なくないが、山崎停留所までは来られても、「目的地までバスが行かない、とまらない」「本数が少なく、行っても帰って来れない」と諦めて、山崎で食事だけして帰られる観光客も多いと聞く。 今後、高齢化もすすみ、バスや電車を交通手段にされる方も増えていく中で、今のままの受け入れ体制でいいのか。 HP等で紹介するなら、期間限定で周遊バスや臨時バスの運行を検討する必要があるのではないかと。</p>	<p>ご指摘の「期間限定の周遊バスや臨時バス運行」についてですが、第4回委員会資料⑥-1の「主な取組①-2」の具体的内容の例示として記載しておりますとおり、観光客が自由に観光できる仕組みとして「観光客が自由に観光できる定額運行タクシーやデマンドタクシー等による周遊の調査・研究」を進めたいと考えております。</p>